やよい句会　令和四年一月～三月　代表句

一月

寒の水遊泳の鯉色深む　信

芽をぴんと立てて立木の寒九かな　晴代

かぶら蒸し句友と食し懐かしむ　雅俊

二月

盆梅の千歳を継ぎて花結ぶ　信

春めくや枝ぽつぽつと動きだす　晴代

神仏に無心に祈る初詣　鉄夫

浮雲に乗りて世界を春の夢　雅俊

三月

寒禽の声庭園に透き渡る　信

風通り白き流れの雪柳　晴代

ジェット雲鳶の高く春の風　鉄夫

落椿ハートを描き地に咲けり　雅俊